

森けんじ市議会レポート



きらら通信 vol.9

平成29年7月

本年度も、色々な事業が具体的に動き始めています。

平成29年第2回定例会が終了しました。今会期の注目すべき議案等は、一般会計補正予算(増保育所協の簡易マザーズホーム及び子育て支援センターの整備及び土地取得)、市個人情報保護条例の一部改正(いわゆるマイナンバー法)、大網中学校給食施設備品購入費、などがあげられます。

「みどりが丘市有地」について、市では「みどりが丘市有地整備室」を設置して「みどりが丘市有地を活用した出産・子育てを支援するまちづくり事業」を推進、東洋大学の支援を受け、大網白里市で初めての「PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ、公民連携事業)」の実現を目指しています。この整備事業は、今後の大網白里市の人口の増減に大きな影響を及ぼすことは間違いないものと思われれます。今後市と連携し、本年2月の意見交換会に続き、この事業についての意見交換会を再度行うべく、市の担当職員各位と調整中です。

また、市では現在、増保育所協に簡易マザーズホーム及び子育て支援センターの整備を進めています。子育て環境・生活福祉環境をより整え、市外の若い人からも移住したいと思ってもらえる地域施設づくりを後押ししていきたいと考えます。

今議会でも引き続き、一般質問を行いました。

○みどりが丘市有地を活用した出産・子育てを支援するまちづくり事業について

○教育行政について

○協働のまちづくりについて

○まち・ひと・しごと創生総合戦略について

詳しくは、裏面や議会だよりをご覧ください。市議会ホームページからは動画も見られます。

今後とも、市民の皆様のご意見を伺い、集約して、市の関係の皆様と情報交換、連携し、大網白里市を「住みたい、住み続けたい」文教のまちにすべく取り組みます。

森けんじ

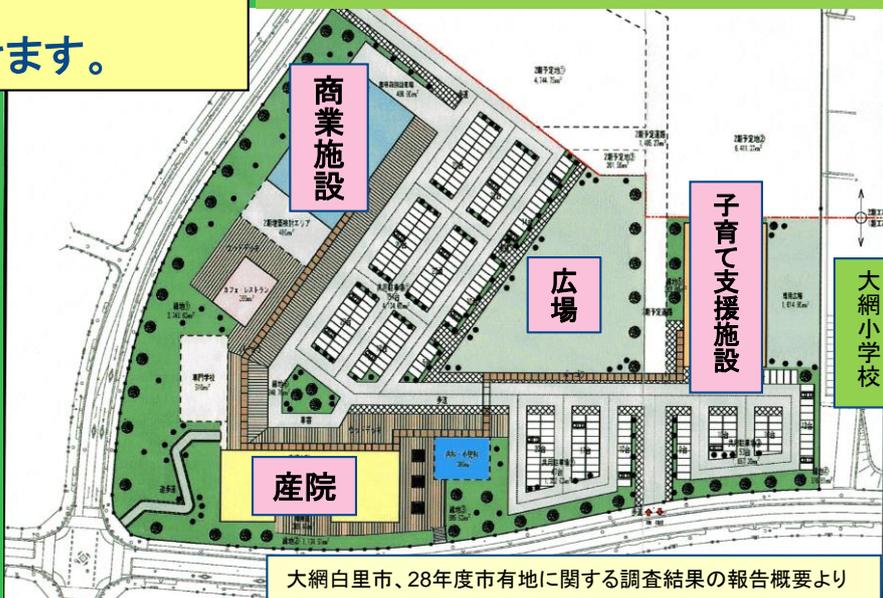
☆「第7回市政報告会」を開催します。

日時：平成29年8月5日(土)、午前10:00～

場所：みどりが丘自治会館

※どなたでもご参加いただけます。

「みどりが丘市有地」事業、施設のイメージ図。あくまで現在の「モデルプラン」であり、実際の計画内容は民間事業者によって提案・作成されます。詳細については、市政報告会でご説明します。



大網白里市、28年度市有地に関する調査結果の報告概要より



所属委員会は、総務常任委員会です。その他、議会だより編集副委員長、議会改革推進協議会委員、等で活動しています。

森けんじとまちづくりを考える会(千葉県政治団体No.388070)

大網白里市みどりが丘3-11-2

電話とファックス：0475-51-1478

ホームページ：http://www.morikenji.net/

(「森けんじ」で検索ください)

6月、平成29年第2回定例会での一般質問の内容(要約)

今会から、議場でタブレットやパソコン等を質問時に持ち込める事とさせて頂きました。議会も新しい物を取り入れ、変わろうとしています。本市の人口は、市の統計予測によると2040年に現在の8割程度に減少します。私達は、引き続き「魅力ある」まちづくりを推進して行かなければなりません。お金はなくても知恵を絞って、未来の「勝ち組自治体」を目指して、市民の目線で、住みよいまちづくりを目指しましょう。

○みどりが丘市有地を活用した出産・子育てを支援するまちづくり事業について

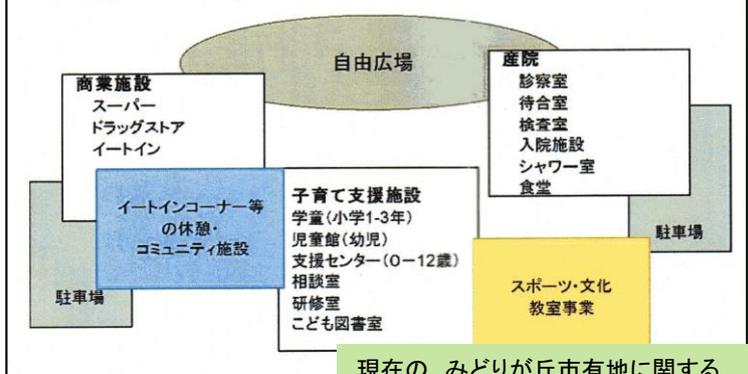
問、市有地について、出産・子育て・買い物など生活環境がコンパクトに集約された空間を形成するため、東洋大学大学院公民連携専攻グループを支援事業者として、「みどりが丘市有地整備室」を設置して基本設計の策定に取り組んでいる事と思います。私も平成22年から、市有地へ住民福祉に資する施設の誘致活動を行って来ました。モデルプラン報告概要書においても私達が供出した「みどりが丘自治会住民アンケート」に概ね沿った住民福祉に供した計画となっており、改めて御礼申し上げます。各施設計画の進捗状況について確認します。答、当該計画については、東洋大学の支援を受け、産婦人科医院や民間企業、地元自治会等から、要望等についてヒアリング調査を実施し検討して参りました。3月に東洋大学から施設全体の機能や規模、配置計画、概算事業費、資金調達方法など、全体の事業スキームについて報告書、モデルプランが示された所です。

報告書では、子育て支援施設を建設する他、周辺に商業施設や産婦人科を誘致する事で相互に機能を連携、共有し新たな賑わいの創出につなげる事としており、また事業推進のため、公民連携、いわゆるPPP事業方式で実施することが適当であるとしています。事業者公募に当たって条件面等で折り合いがつかない場合には公民連携事業として成立しない可能性もあります。誘致状況につき、まず産院ですが、進出を検討している県内の医療法人にヒアリング調査を行い、調査、検討を行った結果、産院を誘致するに当たっては市が財政支援を行いつつ民間事業者の投資を促す公民連携手法が必要であり、市において財政支援措置が必要であるとしています。今後はPPP事業方式を軸としながら、将来的な財政負担や状況の変化等を考慮し、公募の準備を進めます。次に、商業施設は、進出を検討して頂いている民間企業にヒアリング調査を行い、事業内容の精査や実施可能性などの調査を進めており、将来的な市の財政負担等を考慮した上で事業を進めます。続いて子育て支援施設は、学童保育室や放課後子ども教室のほか、子育て支援センター、児童館といった機能を計画しており、いずれも民間事業者のノウハウを生かした施設を検討中です。施設内には、子どもから大人まで他世代が交流できる地域交流スペースを確保し、更に高齢者の体力向上に向けた運動教室などを実施し、市民の新たな交流の場を創出する事を考えています。

問、取り急ぎ子育て支援施設と産院、残りは今後状況に応じてという形に受け取りました。事業予算の都合、企業の進出意欲等の問題はありますが、今後の市全体の発展のために、ぜひ地元の声も聞きながら、スピードを持って前進して参りましょう。

※その他、○教育行政、○協働のまちづくり、○まち・ひと・しごと創生総合戦略について質問しました。

(施設機能のイメージ)



現在の、みどりが丘市有地に関する施設機能のイメージ(市報告概要より)

☆みどりが丘市有地を活用した事業について

「子育て支援施設」「産院」「自由広場」「商業施設」を核とした、出産・子育てを支援するまちづくりを「PPP(公民連携)」手法で目指します。現在の事業の進捗状況を確認し、更なる「市民全体のための施設」を目指して提言を行いました。

☆協働のまちづくりについて

住民協働事業の現状を確認し、現在のいくつかの事業の進捗状況を確認しました。また、平成31年度に市が開設予定の「(仮称)市民活動支援センター」の構築に向けて近隣市町村を例に挙げて提言を行いました。

☆教育行政について

市内小学校の放課後子供教室の運用状況、中学校の校務パソコンの整備、幼稚園の設備改善について確認し、全般として洋式トイレへの改善を含めた提言を行いました。また「デジタル博物館」について、来年度の整備に向けた確認をしました。

☆まち・ひと・しごと創生総合戦略の活用について

市が昨年度より指針の一つとする戦略について「にぎわいを作るプロジェクト」に着目。都市機能の充実、市の魅力発信(シティ・プロモーション)等の提言を行い、今後の戦略の活動方針について伺いました。

※議案は、一般会計補正予算、土地取得事業特別会計補正予算、国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について、個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定、大網中学校給食備品購入等の議案が可決されました、また、陳情として「国における教育予算拡充に関する意見書」採択、「大網・永田駅ホームドア設置に関する陳情」趣旨採択等がなされました。



4月、市の津波避難タワーが、四天木に完成。



森が要望して参りました小学校プールの夏休み利用が本年から実現しています。



7月、自治会と市役所との、みどりが丘市有地に関する懇談会。

※次回の大網白里市議会は…

平成29年第3回定例議会は平成29年9月1日(金)～27日(水)まで開催予定です。ぜひ傍聴頂くかインターネット中継をご覧ください。(一般質問は9/5(火)～7(木)を予定。詳しいスケジュールは、市議会ホームページ等でご確認ください)

平成29年7月(第9号)

発行人: 森 けんじ

299-3255 大網白里市みどりが丘3-11-2

電話とファックス: 0475-51-1478

http://www.morikenji.net/ (メールもHPからどうぞ)